

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	オリーブキッズせんかわ（重症心身障害児）		
○保護者評価実施期間	2026年 9月 2日 ～ 2026年 9月 23日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17 (回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2026年 9月 2日 ～ 2026年 9月 23日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 9月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが安心して楽しく通える環境が整っており、高い満足度につながっていること。	外出や工作等、活動が単調にならないよう工夫している。また、遠足場所やレクリエーション、導入するおもちゃや絵本について、職員間で定期的に話し合う機会を設けている。	子どもの成長や興味に合わせて新しい活動を取り入れ、楽しさを継続できるよう工夫していく。
2	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、健康や発達の状況について共通理解ができていること。	連絡帳で日々の様子を細やかに共有するとともに、メッセージツールを用いて常に連携がとれるようにしている。また、定期的に面談の機会を設けている。	日々の小さな変化も職員間で共有し、保護者へ適切にお伝えできるよう、情報共有の体制をさらに充実させていく。
3	子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した個別支援計画が作成され、計画に沿った支援が行われていること。	カンファレンスの記録と共有を徹底し、職員が共通理解のもとで支援できるようにしている。また、発話のない子どもも、カードやハンドサイン等で意思表示や自己決定ができるよう支援している。	計画の内容を保護者と共有・反映するタイミングがわかりやすくなるよう、説明の機会や方法を工夫していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士やきょうだい同士の交流の機会、家族が参加できる研修会等の機会が十分に設けられていない。	就労している保護者も多く、事業所内での保護者会や家族向けプログラムの開催が難しい。	区や都で実施されている研修やイベントの情報を共有するとともに、きょうだいても参加できる機会について検討していく。
2	各種マニュアルの整備状況や、防災訓練等の実施状況が保護者に十分に伝わっていない。	各種マニュアルの整備や訓練は行っているものの、その内容や実施状況を保護者へ十分に発信できておらず、取り組みが見えにくくなっている。	マニュアルの概要や訓練・研修の実施状況について、連絡ツールやお便り等を活用して保護者へお知らせしていく。
3	地域交流の機会は設けているが、保護者評価では「いいえ」「わからない」との回答もあった。	地域のお祭りの子ども神輿やベガーボール大会に参加しているが、利用日や利用頻度によっては参加の機会がないご家庭もある。	地域交流の実施状況や今後の予定について、より多くの利用児が参加できるよう日程を調整すると共に、保護者へ分かりやすく共有していく。